

旅立ち

大切な第一歩を共に



© MINAKO NOMOTO 2025

春になり、樹木には新しい芽が出はじめて、新年度が始まりました。

夏は猛暑であったり、冬には寒波が来て、大雪が降ったり、四季のある日本では、それぞれの地域により、季節により大きな変化があります。

その変化には対応出来る柔軟性を養いながら大きな、明るい一步を希望を持って進みましょう。

2025年4月吉日

代表理事 黒澤 厚

地域復興支援事業

【第9回菓子セミナー実施】

2023年5月以来に福島県伊達市で第9回菓子セミナーを開催致しました。過去6回の開催を経て、今回はあんぼ柿生産者の曳地様にご協力いただき、ご自宅のあんぼ柿干し場見学を行い、さらに伊達市五十沢地区発祥のあんぼ柿を使用したお菓子セミナーを2025年1月26日に実施しました。

今回のセミナーでは、日本菓子専門学校の酒井先生を講師にお招きし、計39名の方々がご参加くださいました。セミナーでは、あんぼ柿を使った『あんぼジェット』と『ボンボンあんぼ』の2種類のお菓子作りの実演および試食を行いました。また、カカオ豆からチョコレートを製造する際、通常は皮の約3割が廃棄されますが、SDGsを考慮し、その皮を活用して作ったジャムには、参加者から『購入したい』という声が多数寄せられました。

過去のセミナーに参加されたリピーターや地元の方々にも多くご参加いただき、大変好評を博したお菓子セミナーとなりました。

【参加者様からのコメント】

- 生産者の干し場を見学して、生産者の苦労がわかりました。曳地一夫さんの説明も大変良かったです。そして干したあんぼ柿がとてもきれいで素晴らしかったです。
- あんぼ柿を使ってたくさんのお菓子を考案され試食を頂きありがとうございます。カカオチョコレートととても合っていました。おいしく頂きました。可能性は無限大ですね。素晴らしい。ジャム美味しかったです。
- 初めて参加させて頂きましたが、とても楽しく、とても美味しく、とても勉強になりました。お菓子作りのお話ではなく、様々な問題や素敵なお話をたくさん伺うことが出来てとても良かったです。
- 伊達市の果物をより美味しくしてもらって、とても嬉しいです。
- 私はあんぼ柿農家に手伝いに行っていますが、先生の柿への思い伺って、とてもうれしく思いました。明日から、また頑張ります。
- あんぼ柿作りの現場見学ならではの体感ができました。全て手作業、自然の冷え込み、先人達の試行錯誤をかてに経験が美味なるあんぼ柿を生み出すことに感動しました。



あんぽ柿の干し場



あんぽ柿の歴史の説明



あんぽ柿を使ったお菓子



須田市長、酒井先生、曳地様、嶋崎理事

セミナー当日は大変寒い朝にも
 かかわらず、柿の干し場に多数の方々に
 来ていただき感謝申し上げます。
 あんぽ柿は、北風に晒されて、
 美味しさを育んでいきます。
 チョコレートとあんぽ柿のお菓子、
 「あんぽジェット」「ボンボンあんぽ」
 商品化してほしいなあ。
 このセミナーを機会にあんぽ柿のファンが
 増えることを期待します。



あんぽ柿生産者、曳地様ご夫婦

奨学生訪問第3弾

前回に引き続き、第7期奨学生訪問の様子をご紹介します。今回は宮城・北海道・福島の奨学生訪問状況をご報告します。



中村 恵太 様(中央右)

宮城大学大学院食産業学研究科博士後期課程

日渡 祐二 様(中央左) [教授]

植物を細胞レベルで基礎研究し、食品科学に応用していく植物科学を学んでいます。

宮城大学では大学院へ進む学生は比較的少なく、教授とのコミュニケーションや、研究室の施設の利便性も抜群で、とてもいい環境下で研究が続けられています。

ひたすら研究を進める日々のなか、研究の大枠がまとまってきたので、インパクトファクターが高い国際誌に投稿し、博士号を取ることが今の目標です。



上遠野 佑紀 様(中央右)

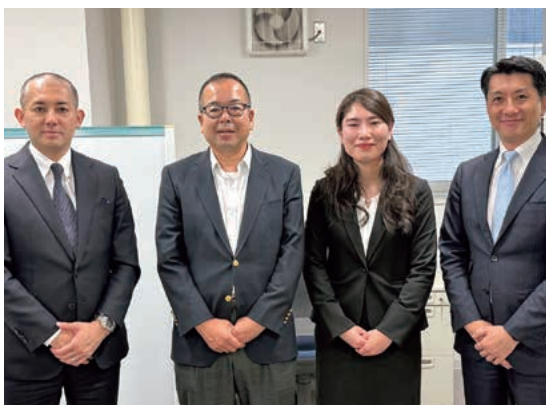
東北大学大学院農学研究科農芸科学専攻博士後期課程

仲川 清隆 様(中央左) [教授]

脂質の酸化メカニズムを主な研究テーマとし、特に、抗酸化物質(ビタミンEなど)の存在下で特徴的に生じる酸化生成物に着目しております。

研究では多様な食品(鶏卵、オーツ麦、サラダ油など)を対象としていることもあり、クロサワ育成財団が主催する食品関連のセミナーにも関心を寄せています。また、奨学生同士の交流の機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

将来は、大学或いは研究機関において研究を継続し、食の品質向上や人々の健康増進に向け、市民とともに歩んでいきたいと考えております。



青木 千佳 様(中央右)

東北大学大学院医学系研究科緩和ケア看護学分野

宮下 光令 様(中央左) [教授]

仙台、東京の医療機関での勤務経験があります。もともと地域医療に関心があり、実際の勤務経験を活かしつつ、地域の医療に貢献したいという思いからがん専門看護師を目指しています。

大学院では高額な費用がかかり効果が見込めない未承認の免疫細胞療法などの補完代替医療を受ける患者の傾向や、遺族の精神面への影響を専門に研究をしています。

今春から希望する病院への就職が確定しています。



皆川 沙由里 様(中)

北見工業大学工学部地域未来デザイン工学科バイオ食品工学コース
陽川 憲 様(右) [准教授]

北見市の名産であるハッカについて学んでいます。地元である北見市でハッカが有名ということは幼少期から知っていましたが、具体的な効果や応用方法は知りませんでした。陽川准教授の授業や実習を通して様々な効果・応用方法があることを学び、ハッカの幅広い活用方法に着目しています。ハッカの素晴らしさを全国に広め、生産・販売を活性化させるために勉強を続けます。



末永 遥香 様(右)

福島県立医科大学看護学部

東日本大震災を受け、人々の生活を支える看護師になりたいと、福島県立医科大学で学んできました。今春から地元の総合病院への就職が決まり、今後は地元への恩返しをしていきたいです。実習時の経験から脳神経外科を希望しています。就職は決まりましたが、まだまだ実習も多く、国家試験の受験もあるため、対策を始めています。就職してからは、平常時・災害時に関わらず、いつでも社会で生活する人々を支えていきたいと思っており、私にしかできない社会貢献だと考えています。

「広場」 奨学生 / 指導教諭 / OB / OG 近況報告

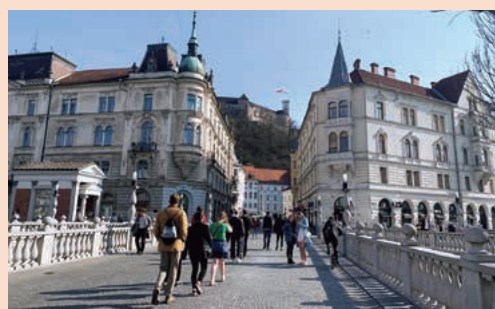
【第13回】

2021年3月に福島大学を卒業された、第2期奨学生の片野彩春さんからメッセージをいただきました。

大学生の私は海外に挑戦し、人や地球の力になりたいという意欲が漲っており、ヨーロッパで環境問題について学ぶ機会を得ました。お力添えいただきました、クロサワ育成財団の皆様にご心より感謝申し上げます。

社会人になってからは、新規営業に励んできました。新人賞をいただいた際に、私以上に喜ぶお客様を見て、本当に嬉しかったです。足を運び、相手の想いをしっかりと受け取れることを、いつも大切にしています。

近い将来、改めて海外をキーワードに進みたいと考えています。いつか黒澤さんのように、自分の本を出版することが密かな夢です。引き続き、私のペースで様々なことに挑戦しようと思います。



留学当時のお写真(上下)

【第3回】

クロサワ育成財団 選考委員 坂本 章紀 様

【無限の可能性と大人の使命】

「こんな学生さんがいるのか？」

私がはじめて本財団の奨学生選考委員を拝命したのが第2期（2018年度）。

以来、毎年奨学金を希望する学生さんのレポートや面接でのやり取りを通して冒頭のような感想を抱きます。

2004年から2011年まで大学生や社会人の就職・転職支援に従事した私は、3,000人以上のキャリア支援を行ってきました。よって、それなりに沢山の学生さんと接してきたと思っておりました。しかし、本財団の奨学生選考をしていると、これまでに見られなかった才能を発見したり、これまでに感じられなかった可能性に触れたり、これまでに得られなかったような刺激を得ることができます。そして同時に強く感じるのが、「こういった素晴らしい才能や計り知れない可能性をきちんと開花させていく基盤作りを、私たち大人がしっかりやっつけていかなければ…」という忸怩たる思いです。

これからもクロサワ育成財団の諸々の活動を通じて大人としての使命を果たしていきたい、そんな気持ちでいっぱいです。



財団からのお知らせ

【2025年度クロサワ育成財団の活動計画について】

例年同様、当財団は「奨学金事業」と「地域復興支援事業」の二つの活動に注力してまいります。「奨学金事業」については、第9期奨学生募集（対象は北海道地区および東北地区）を行い、募集期間は7月から9月末を予定しております。

また、「地域復興支援事業」として、セミナーを2回開催予定です。県内を中心としたセミナーでは、地域の製造業の見学や地元産物を使ったお菓子作りを通じて、参加者に地域の魅力を再発見していただき、地元産業の活性化を図ります。

このように、奨学金事業や地域復興支援事業を通じて、地域社会の発展と学生の成長を支援してまいります。

今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局／丹治

〒104-0045 東京都中央区築地6-25-10 築地センタービル4階

TEL：03-6281-5140 FAX：03-6281-5141 URL：<https://www.kurosfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前9時～午後6時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

